



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 三菱鉛筆株式会社
 コード番号 7976 URL <http://www.mpuni.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 数原 英一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 長谷川 直人 TEL 03-3458-6215
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月8日 配当支払開始予定日 平成24年9月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績（平成24年1月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	26,273	0.1	3,264	△9.4	3,552	△4.2	2,145	△14.2
23年12月期第2四半期	26,258	△1.0	3,601	13.5	3,707	13.2	2,498	38.7

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 2,516百万円 (5.0%) 23年12月期第2四半期 2,397百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	73.95	—
23年12月期第2四半期	83.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	67,148	48,803	71.6
23年12月期	64,767	46,702	71.1

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 48,088百万円 23年12月期 46,043百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	11.00	—	14.00	25.00
24年12月期	—	12.50	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

23年中間期末配当金11円は、創業125年記念配当金1円を含んでおります。

3. 平成24年12月期の連結業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	0.1	6,400	△0.2	6,500	△0.7	4,000	△0.9	137.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期2Q	32,143,146株	23年12月期	32,143,146株
② 期末自己株式数	24年12月期2Q	3,135,233株	23年12月期	3,136,190株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期2Q	29,006,799株	23年12月期2Q	29,993,855株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして実際の業績等は、様々な要因の変化などにより、予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる条件等につきましては添付資料P. 2「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）のわが国経済は東日本大震災からの復興に伴う国内需要が牽引し、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど回復基調がうかがえるものの、欧州財政金融危機や新興国での成長鈍化懸念等から世界経済が減速する中で、歴史的水準での円高定着を背景とした輸出・生産活動の伸び悩み傾向が続き、依然として不透明感が強い状況が続きました。

当社グループが属する筆記具業界でも、個人消費の回復基調を背景に国内需要に持ち直しの兆しが見られたものの、世界経済の減速や円高といった外部要因が響き、全体として力強さに欠けた経営環境で推移いたしました。

このような中、当社グループは、「JETSTREAM」「KURU TOGA」「STYLE-FIT」に代表される高付加価値で高品質な商品群に更なる品質改良や多機能化、カラーバリエーションの充実を積極的に進め、幅広いお客様によりご満足いただける魅力的な商品開発に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は262億73百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は32億64百万円（前年同期比9.4%減）、経常利益は35億52百万円（前年同期比4.2%減）、四半期純利益は21億45百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

筆記具及び筆記具周辺商品事業は、世界経済の低迷や円高の影響を受けたものの、国内市場での主力商品の販売が堅調に推移し、この結果外部顧客に対する売上高は248億96百万円（前年同期比0.3%増）となりました。一方、その他の事業は、手工芸品事業及び粘着テープ事業共に伸び悩み、この結果外部顧客に対する売上高は13億76百万円（前年同期比3.7%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて23億80百万円増加し671億48百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が1億49百万円、有形固定資産が1億42百万円それぞれ減少したものの、現金及び預金が25億40百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて2億79百万円増加し183億44百万円となりました。これは主としてその他流動負債が2億9百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて21億1百万円増加し488億3百万円となりました。これは主として利益剰余金が17億41百万円、その他有価証券評価差額金が2億32百万円増加したことによります。

キャッシュ・フローに関する分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」）というは、前連結会計年度末に比べて24億88百万円増加し206億52百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前四半期純利益33億95百万円、減価償却費7億32百万円、一方使用した資金は主に法人税等の支払額12億41百万円であり、この結果35億82百万円と前年同期に比べて2億12百万円の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、主に固定資産の取得による支出6億62百万円、一方、得られた資金は定期預金の払戻による収入1億13百万円、この結果6億5百万円と前年同期に比べて28百万円の支出の減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、主に短期借入金の返済91百万円、配当金の支払額4億3百万円であり、この結果5億17百万円と前年同期に比べて11億71百万円の支出の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年2月13日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当社及び一部連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,470	22,011
受取手形及び売掛金	12,935	12,786
たな卸資産	10,516	10,495
その他	1,863	1,735
貸倒引当金	△158	△116
流動資産合計	44,627	46,912
固定資産		
有形固定資産	11,935	11,792
無形固定資産	126	136
投資その他の資産		
投資有価証券	5,868	6,240
その他	2,210	2,065
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,078	8,306
固定資産合計	20,140	20,235
資産合計	64,767	67,148

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,488	7,485
短期借入金	1,272	1,185
未払法人税等	1,286	1,245
賞与引当金	409	386
返品引当金	42	54
その他	3,572	3,781
流動負債合計	14,073	14,137
固定負債		
長期借入金	16	170
退職給付引当金	2,660	2,656
役員退職慰労引当金	722	678
環境対策引当金	29	29
負ののれん	147	114
その他	416	558
固定負債合計	3,992	4,207
負債合計	18,065	18,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,497	4,497
資本剰余金	3,582	3,583
利益剰余金	41,304	43,045
自己株式	△3,310	△3,310
株主資本合計	46,074	47,816
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,183	1,415
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	△1,213	△1,145
その他の包括利益累計額合計	△30	272
少数株主持分	658	714
純資産合計	46,702	48,803
負債純資産合計	64,767	67,148

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	26,258	26,273
売上原価	13,839	14,180
売上総利益	12,418	12,093
販売費及び一般管理費	8,816	8,828
営業利益	3,601	3,264
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	97	92
受取地代家賃	69	70
負ののれん償却額	32	32
為替差益	—	83
その他	35	80
営業外収益合計	246	372
営業外費用		
支払利息	8	6
持分法による投資損失	18	13
為替差損	42	—
シンジケートローン手数料	30	27
その他	40	36
営業外費用合計	140	84
経常利益	3,707	3,552
特別利益		
固定資産売却益	81	3
貸倒引当金戻入額	11	—
投資有価証券売却益	18	—
連結子会社所有の親会社株式売却益	0	—
特別利益合計	111	3
特別損失		
固定資産除売却損	17	14
減損損失	—	33
投資有価証券売却損	1	—
投資有価証券評価損	1	—
会員権評価損	—	12
役員退職慰労金	25	—
代理店契約解約損	—	100
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	16	—
特別損失合計	61	159
税金等調整前四半期純利益	3,757	3,395
法人税等	1,190	1,190
少数株主損益調整前四半期純利益	2,566	2,205
少数株主利益	68	60
四半期純利益	2,498	2,145

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,566	2,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△203	234
繰延ヘッジ損益	△3	2
為替換算調整勘定	37	76
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△2
その他の包括利益合計	△169	310
四半期包括利益	2,397	2,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,320	2,448
少数株主に係る四半期包括利益	76	68

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,757	3,395
減価償却費	756	732
減損損失	—	33
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△43
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△43	△5
前払年金費用の増減額 (△は増加)	162	124
受取利息及び受取配当金	△108	△105
支払利息	8	6
為替差損益 (△は益)	48	△51
持分法による投資損益 (△は益)	18	13
投資有価証券売却損益 (△は益)	△17	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	—
代理店契約解約損	—	100
売上債権の増減額 (△は増加)	△67	129
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△292	54
仕入債務の増減額 (△は減少)	114	△9
未収消費税等の増減額 (△は増加)	206	161
その他	96	238
小計	4,636	4,775
利息及び配当金の受取額	108	105
利息の支払額	△8	△6
法人税等の支払額	△1,367	△1,241
代理店契約解約金の支払額	—	△50
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,369	3,582
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△562	△662
固定資産の売却による収入	154	16
投資有価証券の取得による支出	△1	△0
投資有価証券の売却による収入	48	—
貸付けによる支出	△93	△18
貸付金の回収による収入	5	118
定期預金の預入による支出	△253	△163
定期預金の払戻による収入	25	113
その他	44	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△633	△605
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△194	△91
長期借入金の返済による支出	△1	△3
自己株式の取得による支出	△1,029	△1
自己株式の売却による収入	0	—
少数株主からの払込みによる収入	—	13
配当金の支払額	△420	△403
少数株主への配当金の支払額	△39	△25
その他	△3	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,688	△517
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,082	2,488
現金及び現金同等物の期首残高	17,930	18,163
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,013	20,652

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	24,828	1,429	26,258	—	26,258
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	24	31	△31	—
計	24,834	1,454	26,289	△31	26,258
セグメント利益	3,547	40	3,587	13	3,601

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	筆記具及び筆記具 周辺商品事業	その他の事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	24,896	1,376	26,273	—	26,273
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	24	30	△30	—
計	24,902	1,401	26,303	△30	26,273
セグメント利益	3,221	29	3,251	13	3,264

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

筆記具及び筆記具周辺商品事業セグメントにおいて、売却が決定した資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失(33百万円)として特別損失に計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。